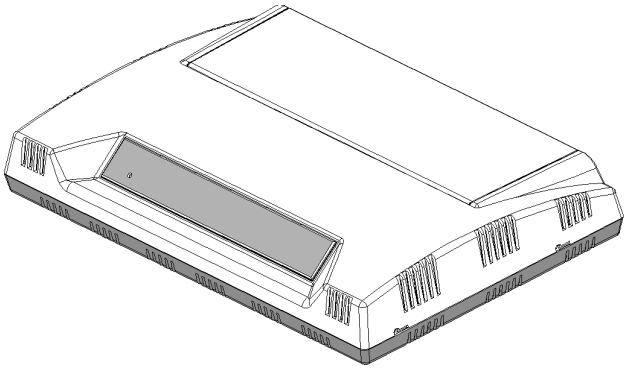


IPvoice シリーズ

アイピーブイスリー

IPV3 管理者モード説明書

・自動応答メッセージ変更手順

・パーク保留音変更手順

・本機設定の保存と復元手順

株式会社 アレクソン

はじめに

本説明書では、工場出荷時に本機に内蔵している「自動応答メッセージ」や「パーク保留音」を、お客様が作成された内容のものに変更する手順、また本機の設定を保存・復元する手順をご説明します。

・「自動応答メッセージ」とは

本機では業務時間外アナウンス等の使用を目的に、着信呼に対し自動的に応答し、内蔵しているメッセージを流す機能を持っています。弊社工場出荷時に固定のメッセージが登録されています。
（詳しくは「IPV3 取扱説明書」の 67 ページをご参照ください。）

・「パーク保留音」とは

本機では内線端末として IP 電話機を使用する際、通話呼の保留方法として IP 電話機単体での自己保留と、端末グループの設定によるパーク保留（設定したグループ単位での保留）の二通りの方法が可能です。本機は、パーク保留機能を使用する際に通話相手に流す保留音を内蔵しています。
（詳しくは「IPV3 取扱説明書」の 47～49 ページをご参照ください。）

・「設定の保存・復元」とは

本機は、お客様のご使用形態にあわせ、さまざまな運用設定が可能です。お客様のご使用形態に合わせて設定された本機の内容を、一括で保存する事ができます。また、本機の入れ替え時等に保存された設定内容を、一括で復元する機能を持っています。

目次

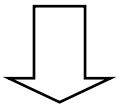
1　内蔵メッセージと保留音の変更 3
1.1　メッセージや保留音の置換用データファイルを作成する 4
1.2　作成したファイルを本機にアップロードする 9
1.3　本機を再起動する 12
1.4　パーク保留音・自動応答メッセージを工場出荷時に戻すには 13
2　本機設定の保存と復元 14

1 内蔵メッセージと保留音の変更

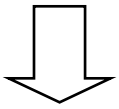
本機は内蔵する「自動応答音声メッセージ」及び「保留音（パーク保留音）」を工場出荷時のものから、お客様が作成されたものに変更する事ができます。
メッセージ、保留音を Windows（サウンドレコーダー）が搭載されたパソコンにより、簡単な操作で作成する事ができます。作成したメッセージ及び保留音は、Web 設定画面の「その他の設定」から、工場出荷時のものと置き換える事ができます。以下に、変更手順を記します。

「変更の手順」

１．メッセージや保留音の置換用データファイルを作成する



２．作成したファイルを本機にアップロードする

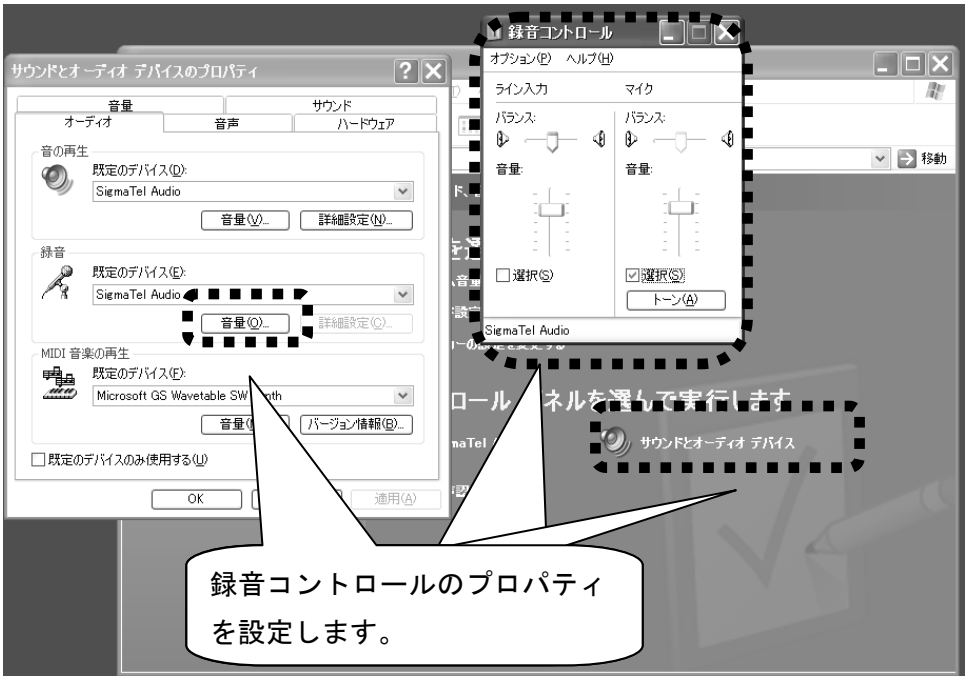


３．本機を再起動する

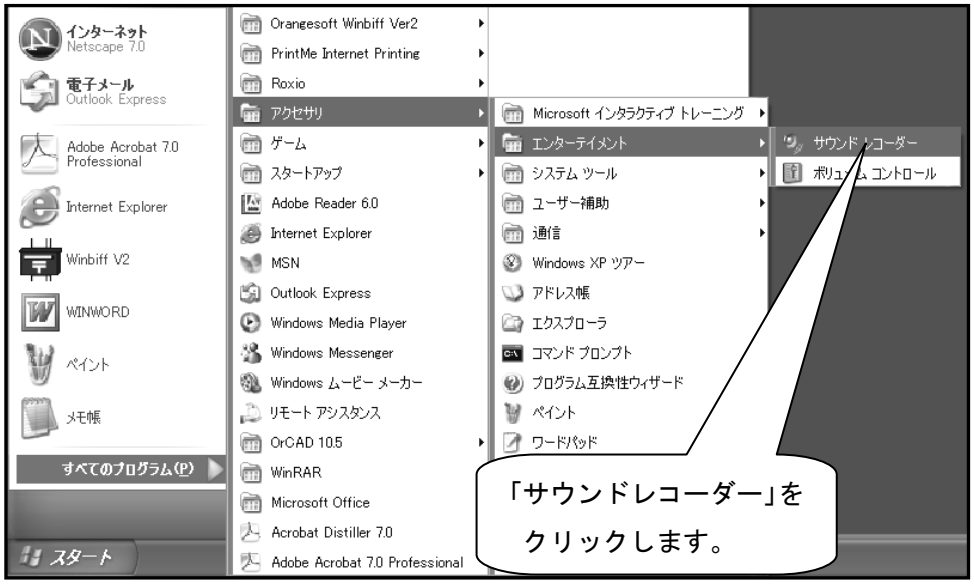
1.1　　メッセージや保留音の置換用データファイルを作成する

最初に、工場出荷時に内蔵されている「自動応答メッセージ」や、「パーク保留音」と置き換える為のデータファイルを作成します。ファイル作成に必要な機器は、Windows を搭載したノートパソコン等（マイク機能やライン入力機能を内蔵している汎用の PC）のみです。

1．事前準備として、Windows の「コントロールパネル」から「サウンドとオーディオデバイス」をクリックし、「オーディオ」タブで、マイクまたはライン入力の録音に関する設定を行ってください。



2．Windows ディスクトップ画面のスタートボタンから「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「エンターテイメント」→「サウンドレコーダー」を選択しクリックします。



３.「サウンドレコーダー」が起動します。録音ボタンを押して、自動応答用メッセージや、パーク保留音を録音します。本機で使用するメッセージやパーク保留音の時間は、30 秒以内での録音としてください。30 秒以上の録音で作成したファイルは置き換える事はできません。

ご注意

●マイクが搭載されていないパソコンの場合はマイクを別途用意する等、サウンドレコーダーを使用して、録音ファイルを作成できる環境を整えてください。

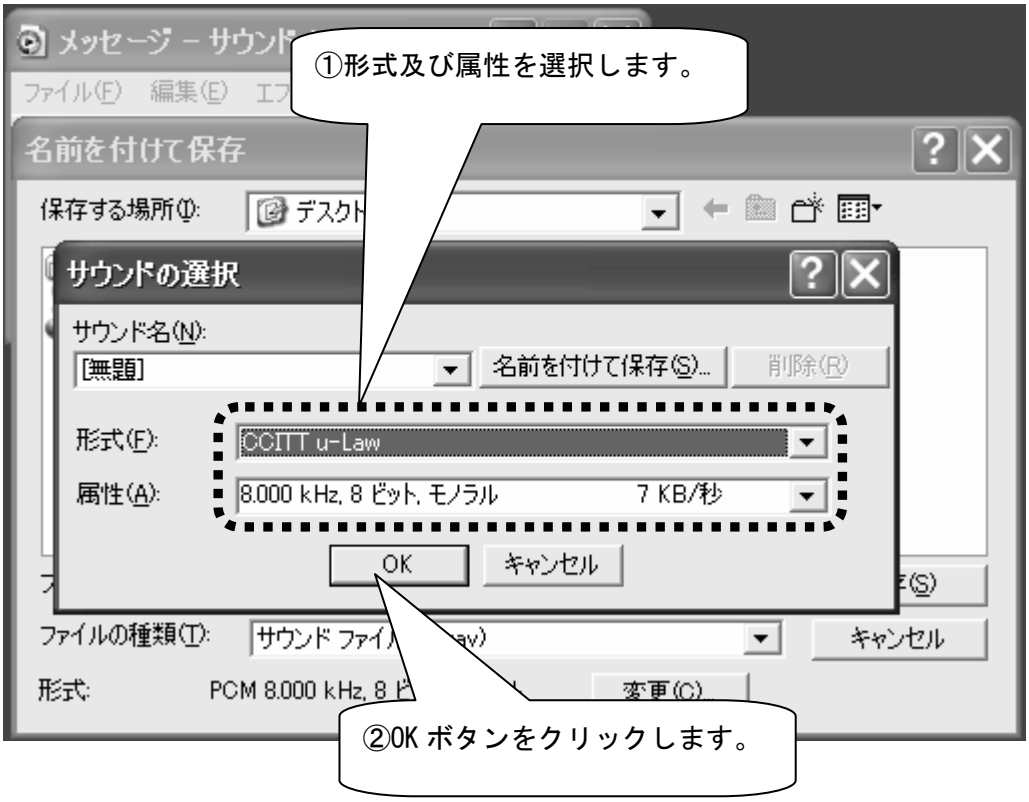
●録音時間は 30 秒以内としてください。30 秒以上の録音で作成したファイルを、本機にアップロードしますと、正常に置き換える事ができません。本機でのメッセージや保留音再生は録音作成したファイル（30 秒）の繰り返しとなります。

４．メッセージ等の音声入力が終わったら、停止ボタンを押して録音を停止します。
※録音時間が 30 秒以内である事をご確認してください。

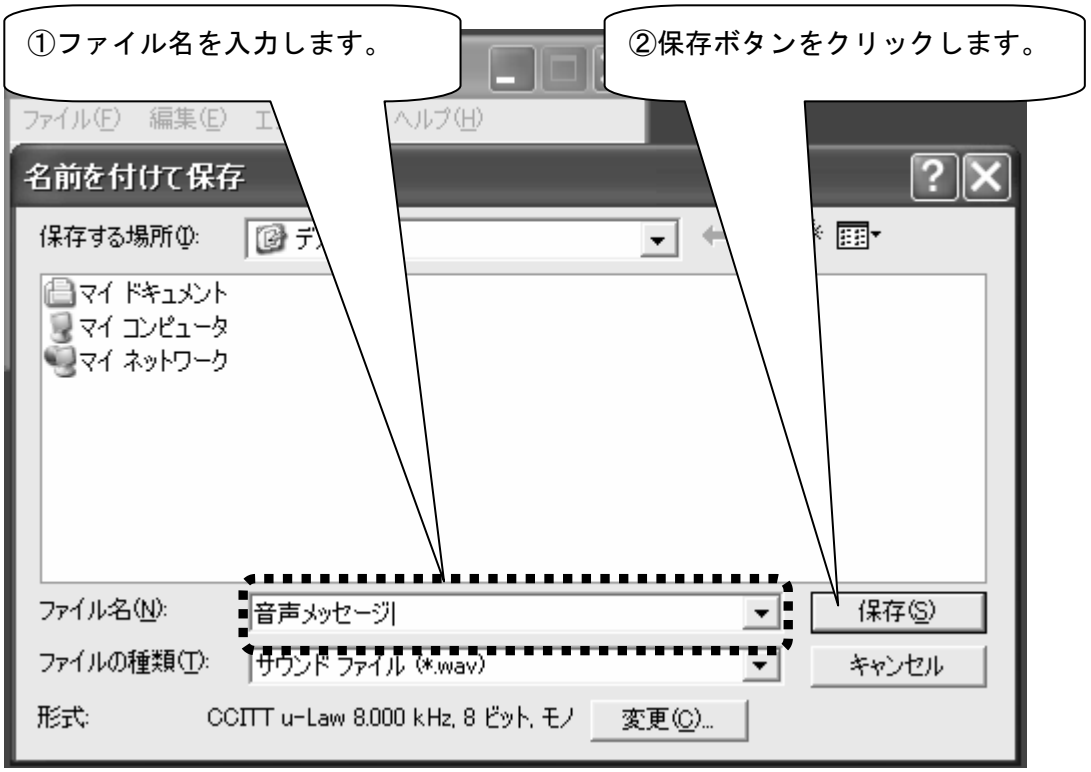
５．録音したメッセージ等を保存します。「サウンドレコーダー」のファイルタブから「名前を付けて保存」を選択しクリックします。

６．ファイル保存する場所を選択し、ファイル保存形式の「変更」ボタンをクリックします。

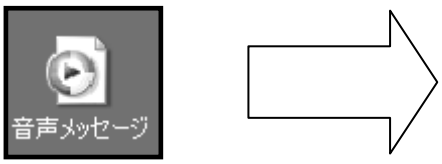
７．サウンドの選択画面が表示されますので、形式に「CCITT μ-Law」を、属性に「8.000kHz,8 ビット,モノラル　7KB/秒」を選択し、OK ボタンをクリックします。



８．ファイル名を入力し「保存」ボタンをクリックします。



９．選択した保存場所に、指定した形式、属性、ファイル名で録音ファイルが作成されます。マウスの右クリックで、作成したファイルのプロパティを選択し、「概要タブ」を開いて指定した内容で作成されている事をご確認ください。以上でファイルの作成が終了です。



作成したファイル上でマウスを右クリックしプロパティを選択します。プロパティの概要タブを開いて、指定した内容で作成されている事をご確認ください。

ご注意

●ファイル作成の形式は、必ず上記の形式・属性を指定してください。上記の形式・属性以外で作成されたファイルを本機にアップロードしても、正常に置き換える事ができません。

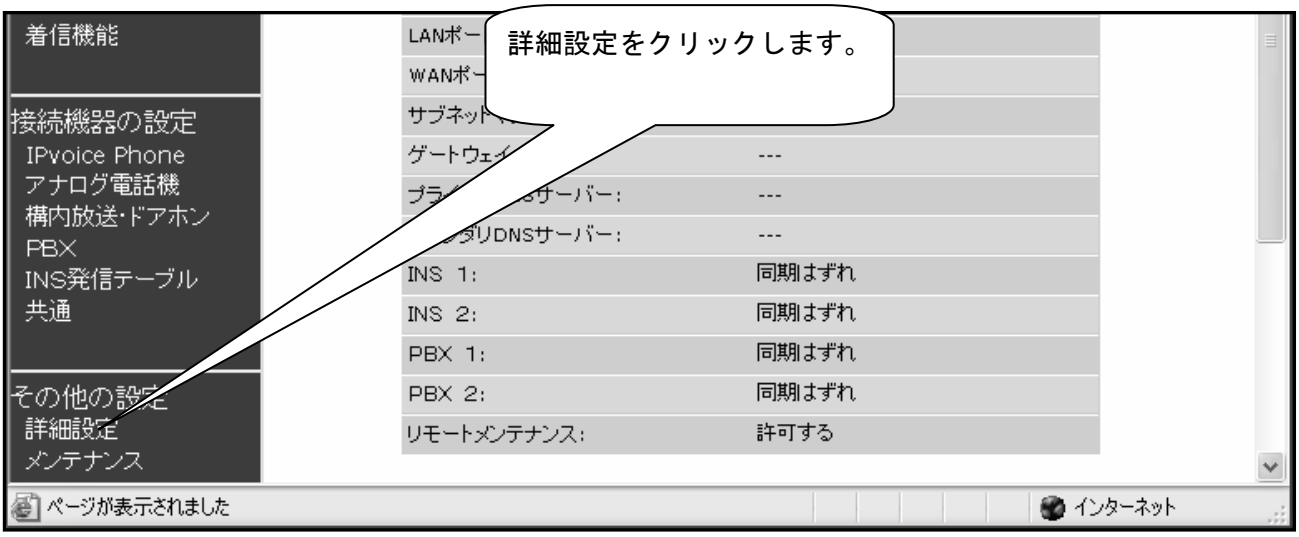
・形式：CCITT μ-Law
・属性：8.000kHz,8 ビット,モノラル　7KB/秒

1.2　　作成したファイルを本機にアップロードする

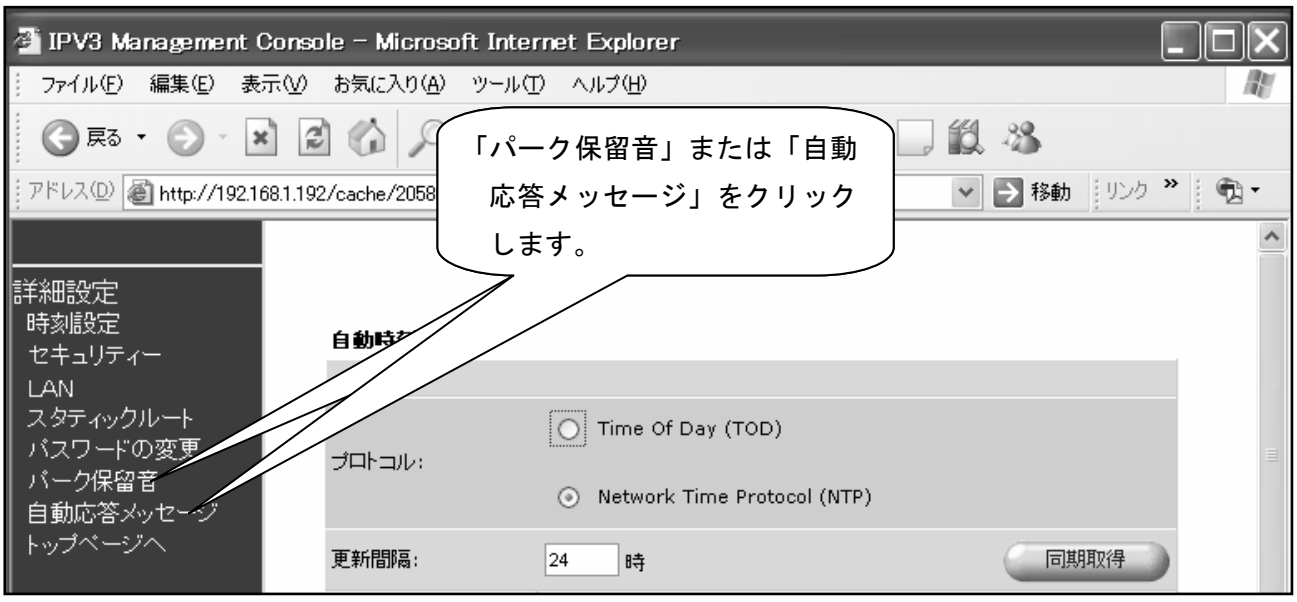
次に、作成したデータファイルを Web 設定画面から本機にアップロードします。

1．Web 設定画面にログインします。（ログインするには「IPV3 取扱説明書」の 34 ページをご参照ください。）

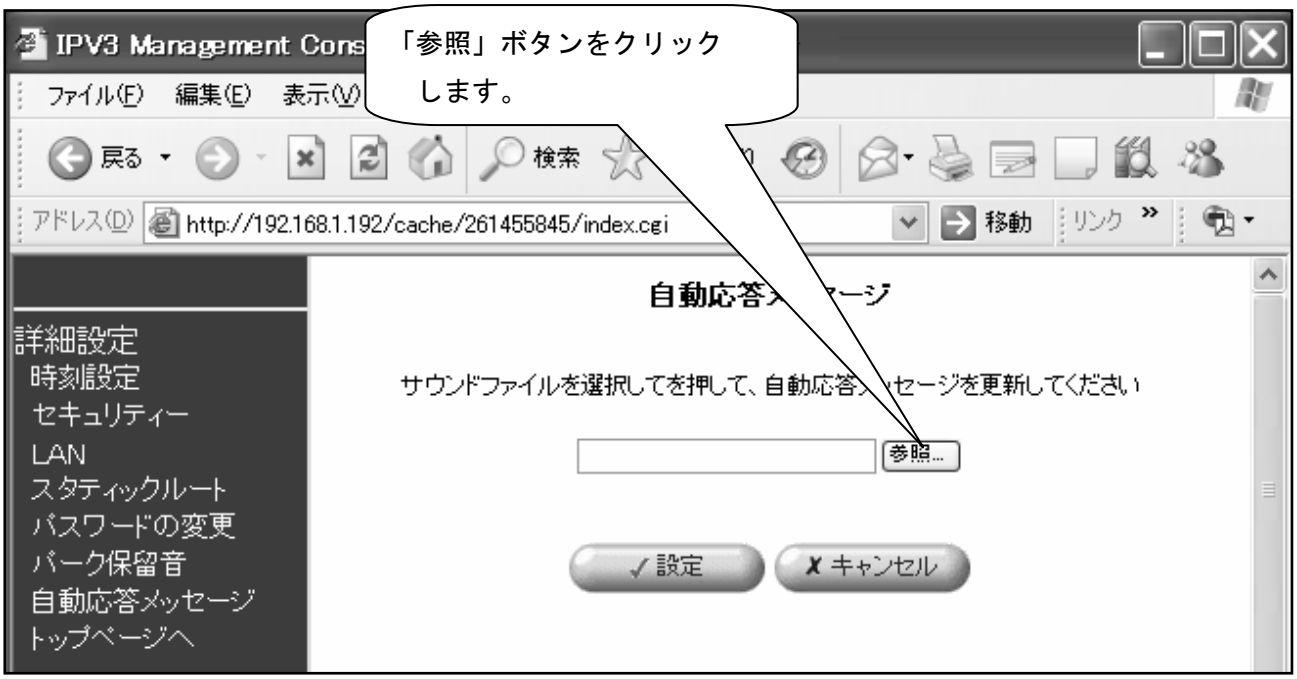
2．Web 設定画面にログインしましたら、操作メニュー「その他の設定」から「詳細設定」をクリックします。



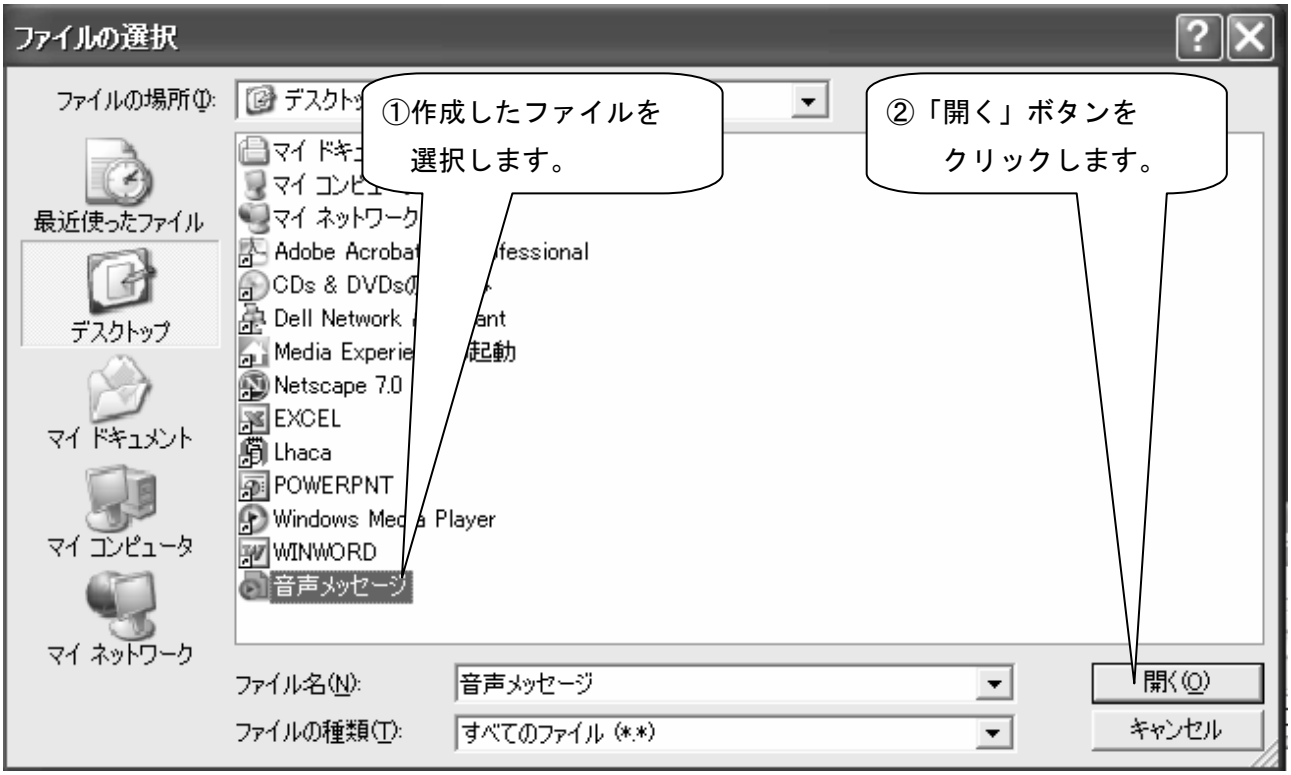
3．詳細設定画面が表示されますので操作メニューから「パーク保留音」または「自動応答メッセージ」をクリックします。



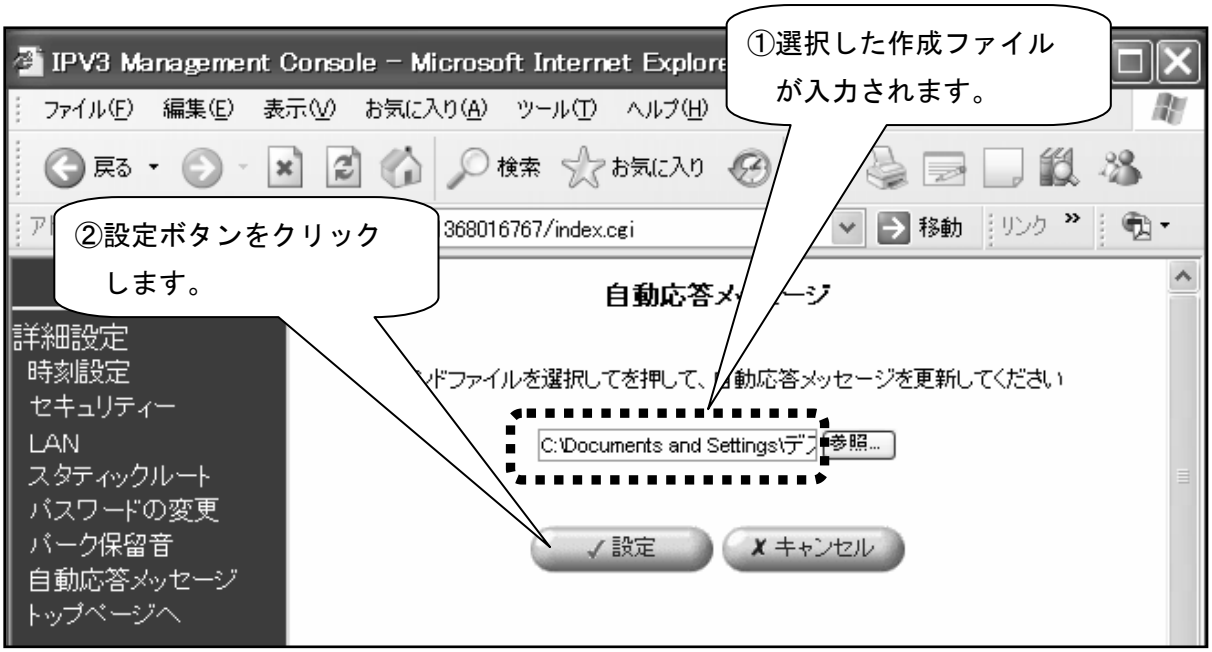
4．「自動応答メッセージ」の設定画面が表示されますので、参照ボタンをクリックします。
※「パーク保留音」を選択した場合も同じ書式の設定画面が表示されます。



5．ファイルの選択画面が表示されますので、作成したファイルを選択し、「開く」ボタンをクリックします。



６．参照ボタン左側に、選択したファイルが入力されますので、設定ボタンをクリックし本機にアップロードします。



アップロードが終了すると、以下の完了画面が表示されます。

ご注意

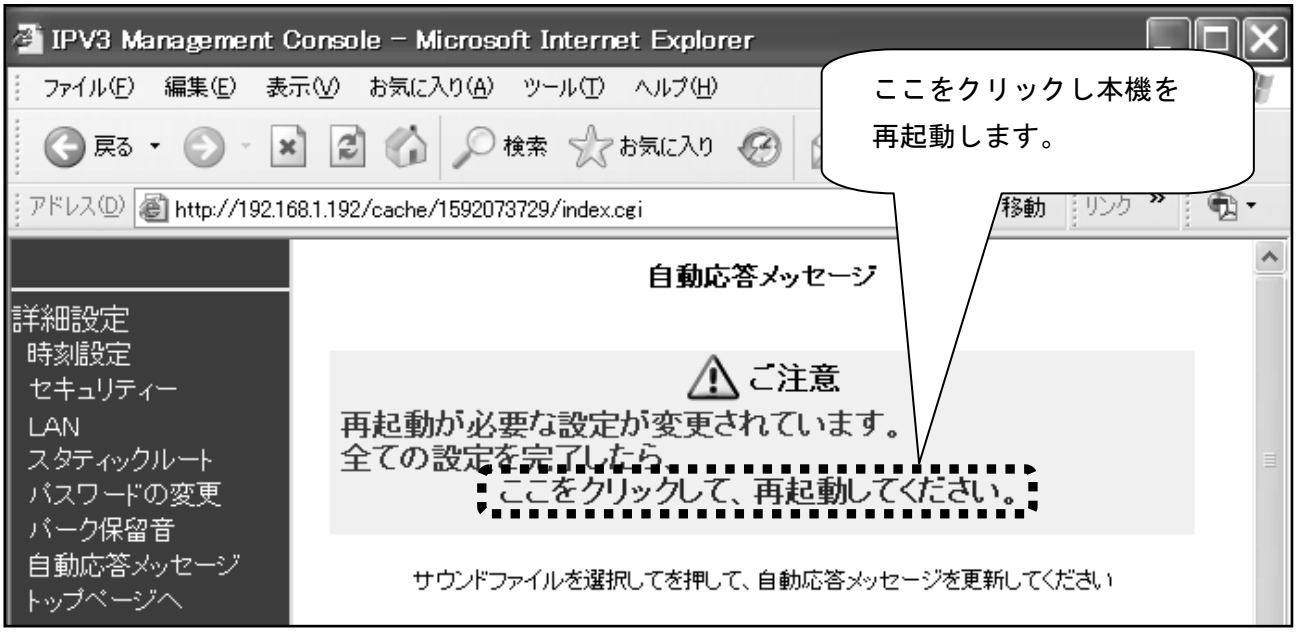
●指定以外の形式・属性・時間で作成されたファイルをアップロードした場合でも、上記の完了画面が表示される事がありますが、正常な置き換えはできませんのでご注意ください。

1.3　本機を再起動する

変更を有効にするため、本機を再起動します。

1.「閉じる」ボタンをクリックします。

2. 以下の画面が表示されますので「再起動リンク先」をクリックし本機を再起動します。再起動後に置き換えたメッセージが有効となります。



以上で、「自動応答メッセージ」の置き換えが完了します。「パーク保留音」の場合も同様な手順で行ってください。

1.4　　パーク保留音・自動応答メッセージを工場出荷時に戻すには

パーク保留音や自動応答メッセージを、お客様ご自身が作成されたものと置き換えてご使用されている場合、本機の初期化機能（11.4　本機の初期化：106 ページを参照ください）を使って全ての設定を工場出荷値に戻しても、置き換えられたデータは保持するようになっています。

置き換えられたあとに、再度工場出荷時のデータに戻される場合は、弊社ホームページの「IPV3」商品ページより「パーク保留音」及び「自動応答メッセージ」のデータファイルをダウンロードして頂き、同様な手順で本機にアップロードしてご使用ください。

また、指定のファイル形式・属性・時間以外の作成ファイルをアップロードした為に、各機能時に正常な再生ができなくなった場合も、データファイルをダウンロードして頂き、同様な手順で本機にアップロードしてご使用ください。

弊社ホームページアドレス

http://www.alexon.co.jp

2 本機設定の保存と復元

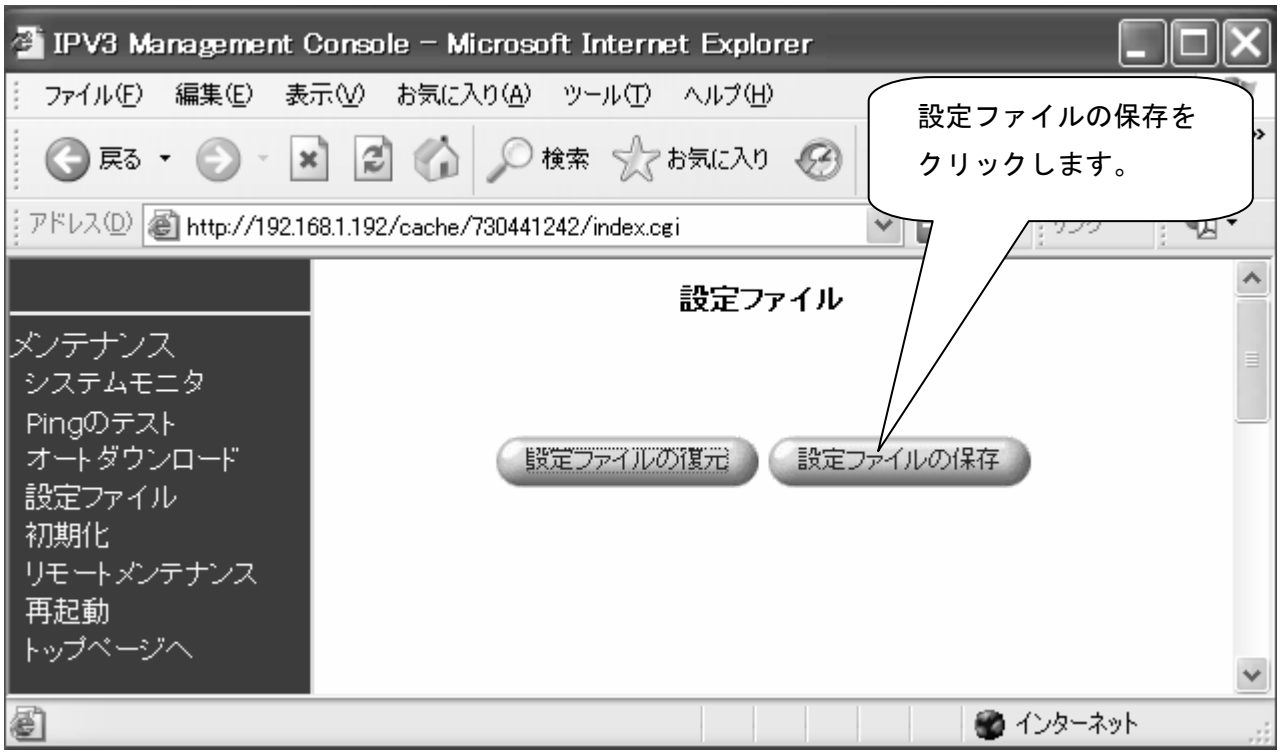
本機の各設定を、設定用ファイルとして一括で保存します。また保存した設定用ファイルを、本機にアップロードすることで、設定を一括復元します。

1．Web 設定画面の操作メニュー「その他の設定」から「メンテナンス」をクリックします。

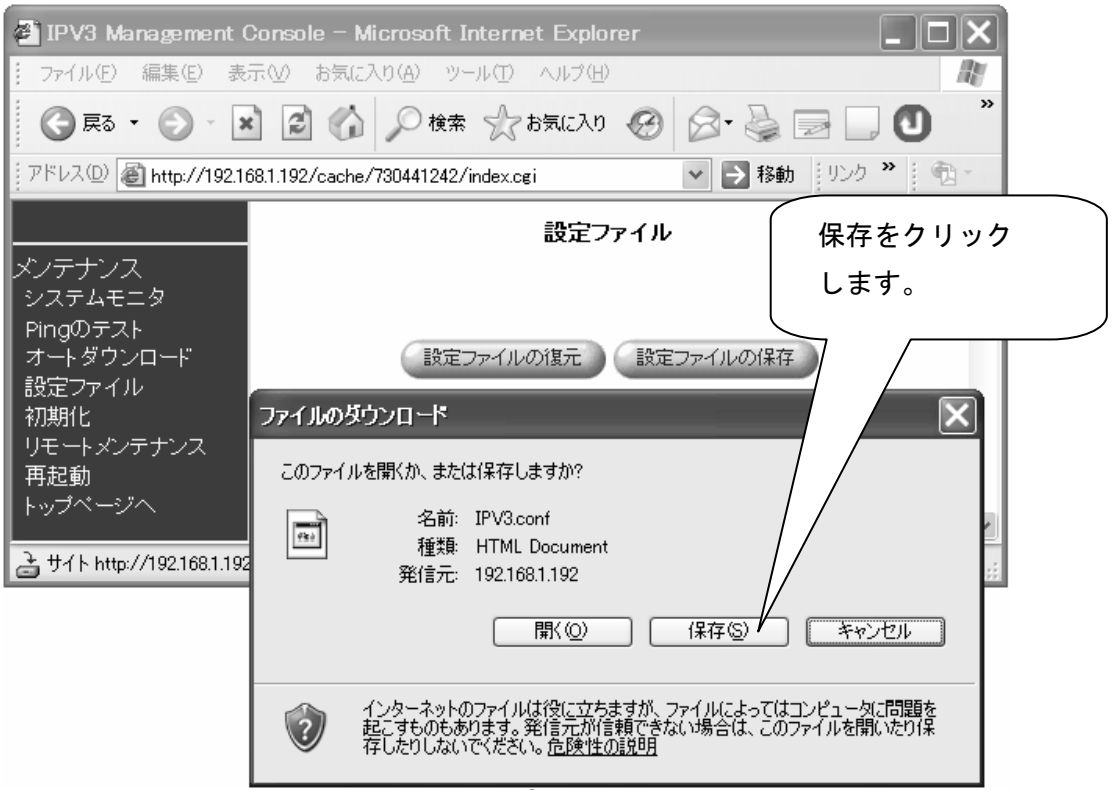
2．システムモニタ画面が表示されますので、操作メニューから「設定ファイル」をクリックします。

3．設定ファイルの操作画面が表示されます。「設定ファイルの保存」ボタンで、現在の設定を一括保存します。また、「設定ファイルの復元」ボタンで保存された設定ファイルを本機にアップロードし、全ての設定を復元します。

「設定ファイルの保存」をクリックします。



4．ファイルダウンロードの画面が表示されますので、「保存」をクリックします。

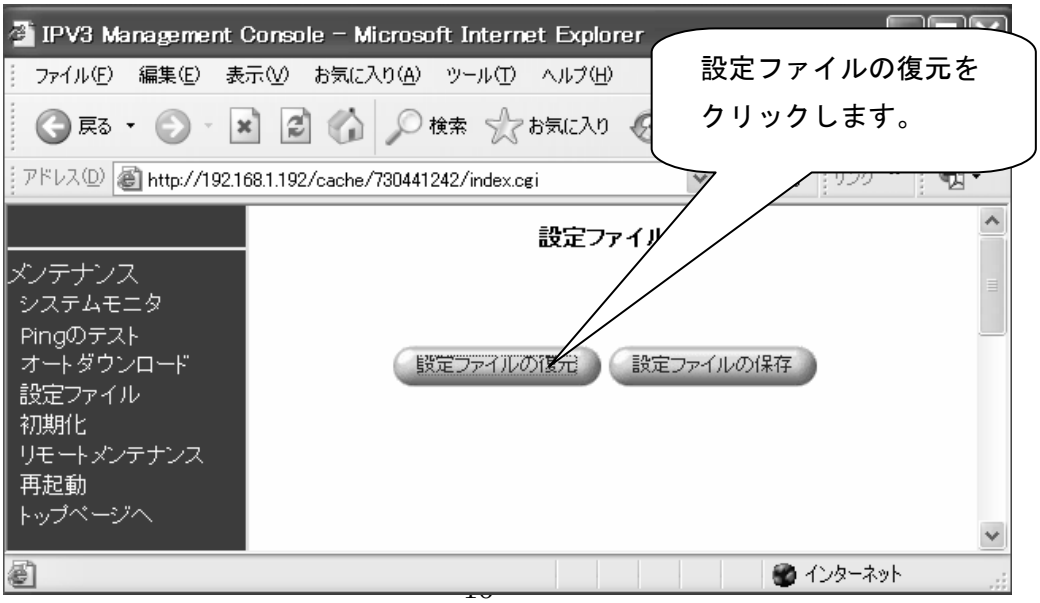


５．ファイルの保存場所を選択し、「保存」をクリックします。

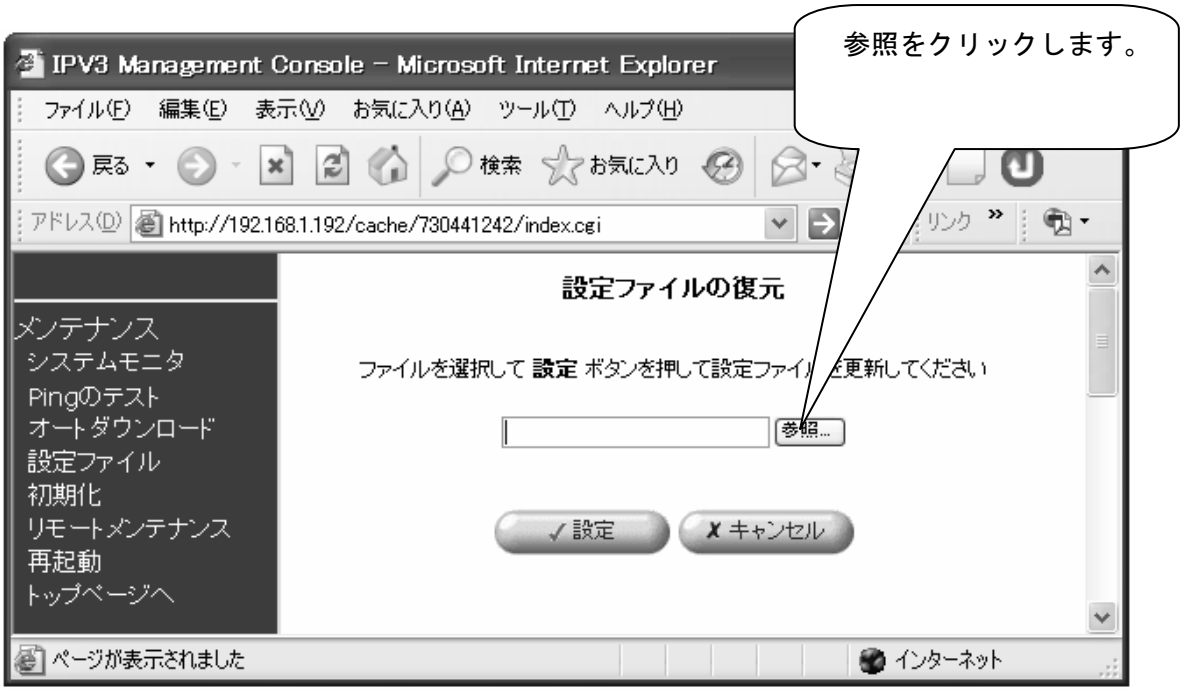
６．選択した保存場所に「IPV3.conf」のファイル名で、下記の設定ファイルが保存されます。
以上で設定ファイルの保存が完了します。

※ファイル名：IPV3.conf（初期値）

７.次に保存した設定ファイルを、本機にアップロードし、全ての設定を復元する場合の手順を記します。設定ファイルの操作画面で「設定ファイルの復元」をクリックします。

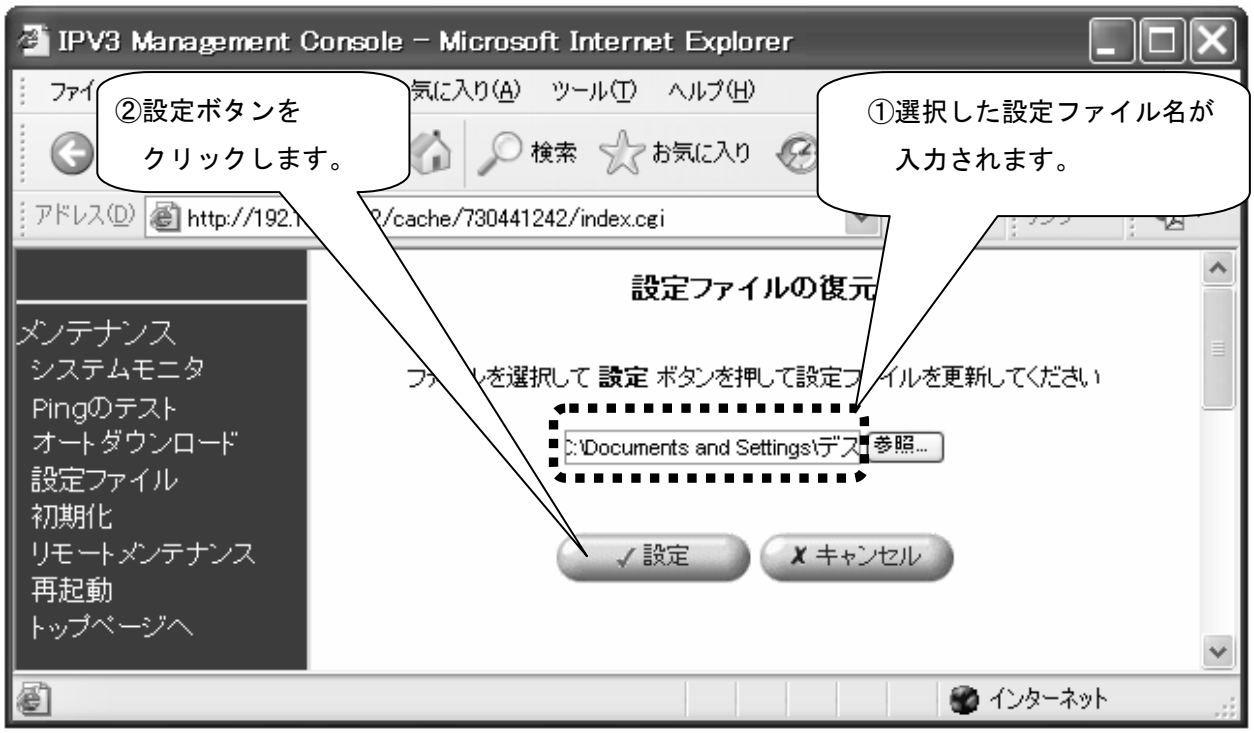


８．設定ファイルの復元操作画面が表示されますので、「参照」ボタンをクリックします。

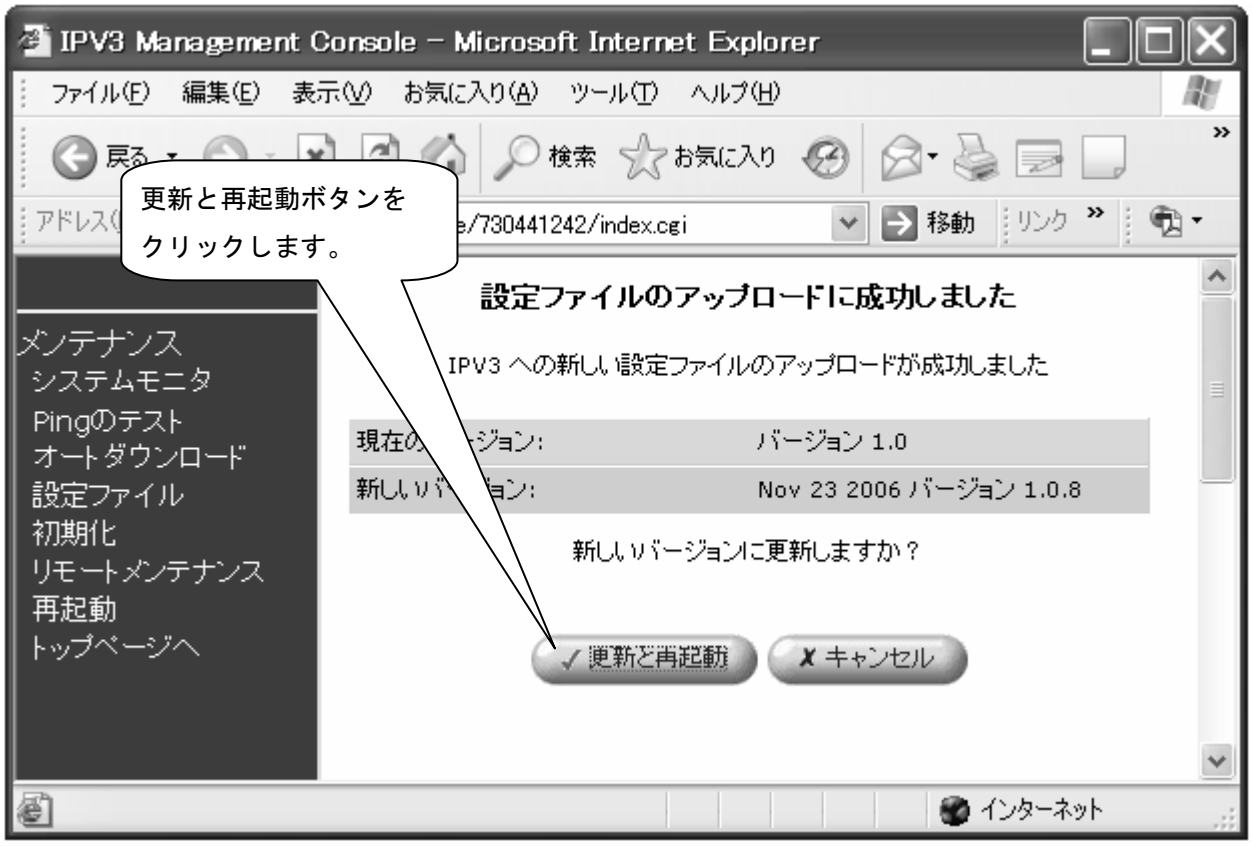


９．ファイルの選択画面が表示されますので、保存した設定ファイル「IPV3.conf」を選択し開くボタンをクリックします。

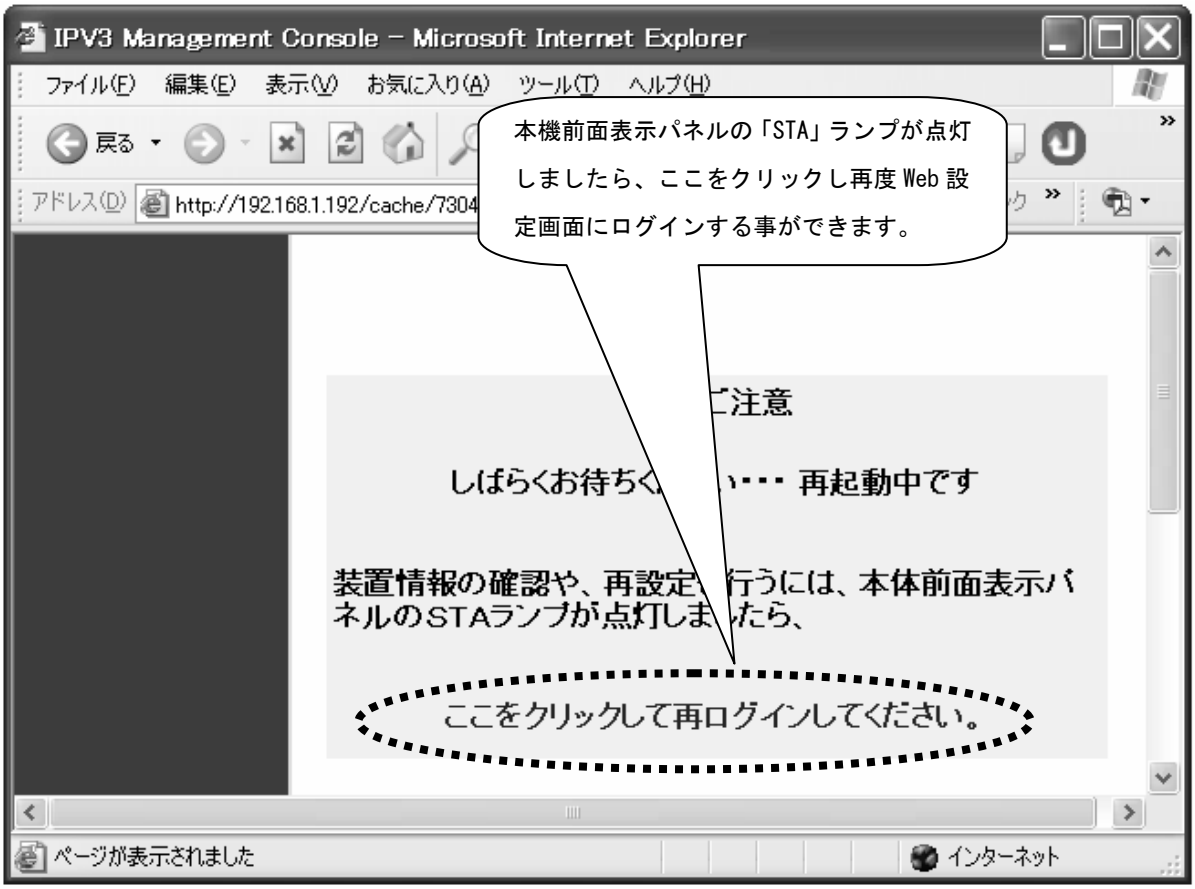
１０．設定ファイルの復元画面の参照ボタン左側に、選択したファイルが入力されますので、設定ボタンをクリックし本機にアップロードします。



１１．下記の「設定ファイルのアップロードに成功しました」の画面が表示されます。「更新と再起動」ボタンをクリックし、本機の設定を更新します。



１２.「更新と再起動」ボタンをクリックすると、下記の再起動中画面が表示されます。本機前面パネルの「STA」ランプが点灯しましたら再起動が完了し、本機はアップロードされた設定ファイルの内容で動作します。本機再起動後に、再度 Web 設定画面にログインするには「ここをクリックして再ログインしてください」をクリックします。



以上で、本機設定内容の復元が完了します。

2006/11/28